

高松市立鬼無小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら考え行動できる、心豊かでたくましい児童を育成する

【本校の課題】

- 男女とも、多くの学年で握力・持久力・瞬発力の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 握力、反復横跳び、シャトルランは昨年度より3学年で平均記録が下回った。
- 2・5・6年生男子、4・6年生女子において、多くの種目で県・全国平均を下回っている。

【現状】

業前や休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる児童の姿が見られるが、業間は教室で過ごす児童が多い。特定の児童が、運動場で十分な時間遊ぶことができていない。また、半数ぐらいの子どもたちが、遊具などで遊んでおり、ボールを使って遊ぶ児童がやや少ない。体育学習年間指導計画では、各学年が同じ領域で学習が行えるように変更し、実践できるようにしていた。

【取組み】

体づくりがんばり表

低・高学年に分けて、柔軟性を中心として、自己の目標を達成できるように「鬼無っ子がんばりカード」を配布し、体育の時間や家庭での体力づくりとしても取り組めるように実践している。

全校なわとびの実施

たてわりグループで、昼休みに楽しみながら長縄に取り組むことで持久力の向上につなげる。1月には、「みんなでジャンプ大会」を実施する。

器械運動練習カード

毎日、器械運動（マット・跳び箱・鉄棒）の練習ができるように各教室に練習カードを3冊ずつ配布し、技術の習得のポイントを児童が自由に見て練習できるようにしている。

地域の体力づくりとのタイアップ

コミュニティ協議会主催の「健康チャレンジ」とタイアップして、休み時間の運動量でチェックカードのポイントを増やせるようにする。

【目標】

- 体力・運動能力テストの各学年平均記録を、全国・県平均より4種目以上で上回るようにする。
- 各学級の全員が運動場で元気に遊ぶ日が、1週間に1回以上あるようにする。